

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
経済学史	田添 篤史	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>経済学の歴史を学ぶことで、現代の経済学がどのような思想的流れの中で生み出されたのかを理解し、それを通じて経済学の基本的な考え方を把握することを目的とする。</p> <p>また、主流派経済学とは異なる多様な考え方があることを知り、経済を様々な角度からとらえることができるようになることについても目的とする。</p>						
到達目標	<p>① 経済学の歴史を学び、どのような学派が存在するのか、それぞれにどのような特徴があるのかを理解する。</p> <p>② 現実の経済問題について、様々な角度から見るようになる。</p>						
回	学習内容						
1	経済学史とはどのようなものか、なぜ学ぶのか						
2	アダム・スミス(1)：階級と所得の対応関係、自由取引の利点、分業と生産性						
3	アダム・スミス(2)：萌芽的な労働価値説						
4	リカード(1)：価値構成説と価値分解説の違い						
5	リカード(2)：差額地代説、比較優位論						
6	マルクス(1)：資本主義社会の捉え方						
7	マルクス(2)：公正な賃金であっても発生する搾取、未来社会論						
8	限界革命：方法論の転換						
9	マーシャル(1)：需要曲線の考え方						
10	マーシャル(2)：供給曲線の考え方						
11	ケインズ(1)：新古典派批判とその独自性						
12	ケインズ(2)：有効需要の原理						
13	新しい古典派の登場						
14	経済成長の源泉						
15	格差と経済成長をめぐる議論						
予習内容 復習内容	<p>予習：授業中に指定された文献を読んでおくこと。</p> <p>復習：配布資料および授業ノートを整理すること。</p>						
教科書	特になし。授業中に資料を配布する。						
成績評価	<p>毎回の授業で提出するコメントシート 30%</p> <p>課題レポート 70%</p>						
実務経験							
その他 特記事項							